

安倍首相が保育行政のモデルとして期待する「待機児童ゼロ」の横浜市だが、元保育士の横浜市議が指摘する「数字のまやかし」と「将来のリスク」とは――

「林市長の『待機児童ゼロ宣言』は、まやかしです。実際には、今(4月現在)でも1千746人の待機児童が市内に存在して、ママたちを悩ませています」

と、指摘するのは、元保育士で3児のママの荒木由美子(横浜市議)。

3年前は、保育所に入りたくても入れない待機児童の数が全国ワースト1位だった横浜市。今回、ゼロの功労者として、横浜市・林文子市長が脚光を浴びる一方で、保育の現場では、手放しでは喜べない事態が起きているという。

元保育士と立場から、荒木市議が緊急告発する! 「そもそも、ゼロという数字は、算出法を変えて、過少申告」した結果と言えます。

実は、事業所内保育施設(託児施設)や一時保育施設、市が助成する認可外保育施設・横浜保育室へ入所中の児童などは、待機児童に含まれていません。さらに、親が主に自宅で求職活動中の児童も計算外なのです」(荒木市議)

と、横浜市でも、「認可保育所へわが子を入れたい」と

いう、母の願いが100%かなっているわけではないのだ。確かに市は昨年度だけでも74カ所を新設、31カ所で増員など、認可保育所の定員を増やす努力をしているのは事実だが……。

「市が民間の参入を促した結果、株式会社運営の認可保育所は7カ所に増え、全体の約4分の1を占めています。

ただし残念なことに、一部の民間の保育所では、質より量を優先したとしか思えないほど、保育サービスの低下が懸念されています。

その大きな原因は、保育環境の悪化と、保育士の人材不足の2点にあるようです」(荒木市議)

利便性を優先した駅チカや駅ナカ、オフィス街の保育所では、園庭がなく、窓は北向きで日当たりが悪いケースもあるという。

「どの保育所も、厚生労働省の規制緩和の適用を受けています。ただし、法制上は問題ないとはいえ、日当たりも風通しも悪い保育室は、保育にエンザや手足口病など、感染症が拡大しそうで心配です。

また、「三つ子の魂百まで」

といわれるよう、小さいころの環境で、性格は形成されていきます。将来、心にならかのひずみが出てこないか心配です」(荒木市議)

病気に限らず、事故の危険性も高まってしまうという。「園庭がない保育所では、近所を飛び越えて落下的危険があります。それに、足元は鉄板で滑り止めがないので、雨の日は滑って転んでしまう危険性があります」(荒木市議)

したある保育所では、非常階段を後から設置しましたが、柵を飛び越えて落下の危険があります。それに、足元は鉄板で滑り止めがないので、雨の日は滑って転んでしまう危険性があります」(荒木市議)

所の公園へ出かける頻度が増えたため、交通事故に遭うリスクも増えてしまいます。

また、オフィスビルを改装したある保育所では、非常階段を後から設置しましたが、柵を飛び越えて落下の危険があります。それに、足元は鉄板で滑り止めがないので、雨の日は滑って転んでしまう危険性があります」(荒木市議)

英語の先生を招くサービスを提供する保育所もありますが、それよりも子どもたちに必要なは広い園庭や遊具だと私は考えます」(荒木市議)

子どもたちのために、保育士の待遇改善がまず必要だ

という。

「私が調べた結果、民間の保育士の給料は、市立の2分の1という例もありました。

保育士は、経験が重視される職業です。でも、離職率が高く、入れ代わりが激しいため、先輩から後輩へと教える環境が整っていないようです。

公立では早くても45歳にならないと、園長になれませんが、民間ではたったの35歳で園長になった例もあり、信じ難い思いでした。経験が浅い保育士で、家庭での児童虐待を見逃してしまふことも、増えているでしょう」(荒木議員)

一部の保育所では、次のように園児が危険にさらされる事態が起きていた。

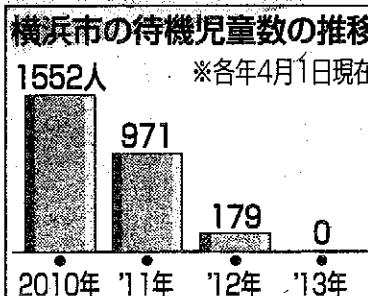
『保育士がやけどの危険のあるものを子どもの近くで食べていた』(平成23年度施設指導監査結果情報より)

『感染症発生時の対応について、症状のある子どもを医療

嘘だらけ!



横浜市が公表する「施設指導監査結果情報」には気になる記述がある



荒木市議は問題ある保育施設には自ら足を運ぶ

(174)

女性自身 6月18日号

元保育士の「3児ママ」横浜市議が緊急告発！

「子どもを無視した
保育ビジネス推進に
異議アリ！」

横浜市の 待機児童ゼロ、は 事故の心配も…

民間企業は、利益を追求するあまり、人件費を抑えようと、非正規雇用の保育士や、無資格のスタッフを増やして、悪循環に陥ることも心配でなりません」（荒木市議）

「横浜市は西児童虐待を放置すべき！」

横浜市は、荒木市議が指摘する問題点について、どう考

えていけるのだろうか。

——待機児童ゼロの考え方

は？

「厚生省の通知による定義を基本に計算しています。待機児童ゼロはあくまで統計上の数字だということを理解しています。

我々は、保育コンシエルジュという制度で、まずは実態を把握することが重要だと考え、育休や求職活動の状況も把握しています」（横浜市・

横浜市内の保育所を視察した安倍首相だが、一部の保育所には不安もあると荒木市議は訴え

室で保育するなどの適切な対応をとつておらず、感染症がまん延していた』（同）

「当時の細かい状況はわかりませんが、対処できないほど、現場は疲弊しているのでよう。別のケースでは、わずか1年間に、施設長を含む常勤職員全員が退職または系列園へ異動したことで、保護者から不安の声も上がっています。

民間企業は、利益を追求するあまり、人件費を抑えようと、非正規雇用の保育士や、無資格のスタッフを増やして、悪循環に陥ることも心配でなりません」（荒木市議）

民間企業は、利益を追求す

るあまり、人件費を抑えようと、非正規雇用の保育士や、無資格のスタッフを増やして、悪循環に陥ることも心配でな

（子ども青少年局保育運営課）

前出の荒木市議は、横浜市の育児環境についてこう語る。

「保育コンシエルジュや横浜保育室の設置など、林市長の政策の優れた点もあります。

しかし、横浜市は、ほかの自治体と比べると、残念ながら子育てには向いていないと

思います。認可保育所でも、保育料とは別に昼食の主食代が徴収されます。

児童館、公立の幼稚園、学

童保育もありません。小児医療に関しては、通院の場合、無料なのは小学校1年までで、さらに所得制限があります。

公立中学校には給食もありますが、

せん」（荒木市議）

5月下旬、横浜市内の保育所を視察した安倍首相は待機児童問題の打開策として、『横浜方式』を全国に推進する意向を表明した。だが、まだま

だ改善の余地はありそうだ。

ことも青少年局保育対策課）

——民間の保育所のほうがあ

離職率が高いという指摘があ

るが……。

「離職率が高いというデータ

は、持ち合わせていません。

民間の保育所の平均勤続年数

も含まれているので、それな

りに経験のある方がいても全

体的に若くなってしまいます」

（子ども青少年局保育運営課）

前出の荒木市議は、横浜市の育児環境についてこう語る。

「保育コンシエルジュや横浜保育室の設置など、林市長の政策の優れた点もあります。

しかし、横浜市は、ほかの自治体と比べると、残念ながら子育てには向いていないと

思います。認可保育所でも、保育料とは別に昼食の主食代が徴収されます。

児童館、公立の幼稚園、学

童保育もありません。小児医

療に関しては、通院の場合、

無料なのは小学校1年までで、

さらに所得制限があります。

公立中学校には給食もありま

せん」（荒木市議）